



第6回エネルギー物質とその応用技術に関する国際シンポジウム  
(ISEM2017) 市民講座

# 爆弾テロ対策と日本の花火に関する市民講座

Public Lectures on Counterterrorism and Fireworks

2017.11.6 (月)

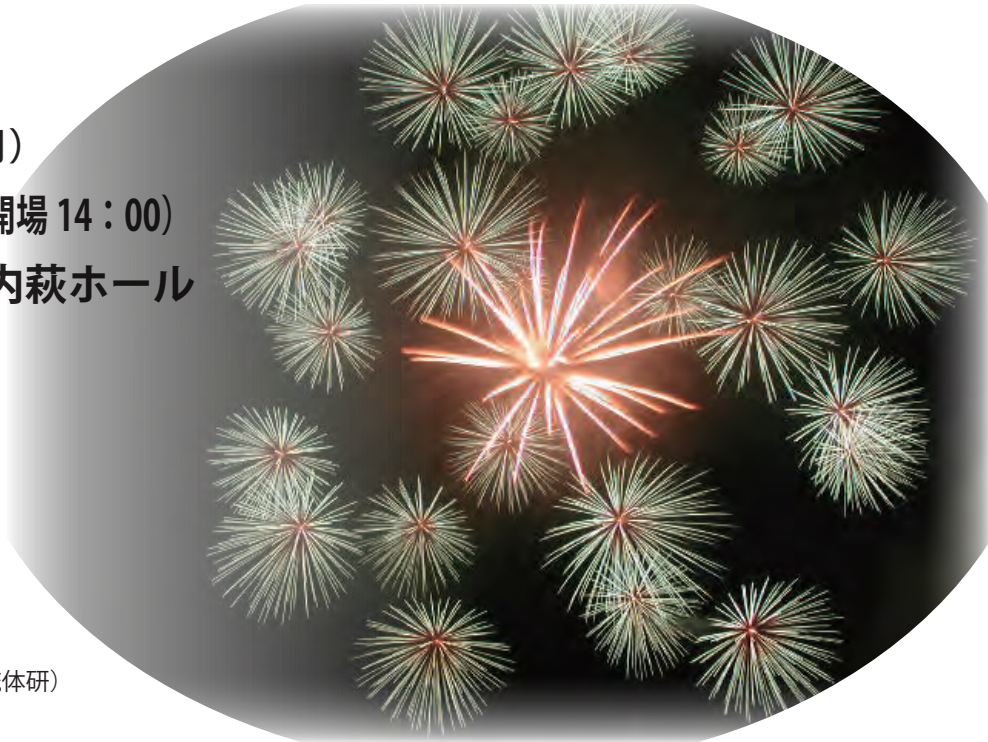
14:30~17:00 (開場 14:00)

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

地下鉄東西線「川内駅」下車 徒歩7分



都市模型を伝播する衝撃波 (写真提供: 東北大流体研)



千輪菊 (写真提供: 日本煙火協会)

## 講演1 最近の爆発物テロとその対策について

中村 順 (公益財団法人 総合安全工学研究所 事業部長)

ブリュッセル、ニューヨーク、マンチェスターなどの西側先進国で相次いで爆発物事件がおこっており、テロの脅威が高まっています。本講演では、最近の爆発物テロについてその傾向と特徴について説明し、日本で同様な爆発物事件やそのおそれが見られることもご紹介します。また、爆発物テロを未然に防ぐことや、実際に爆発した際の被害を減らして軽くするために取られている規制と対策について、例えば、手製爆薬の原料規制、爆発物探知、多重防護など具体的な例をあげ、テロ対策について幅広くご紹介します。

## 講演2 花火千夜一夜

河野 晴行 (公益社団法人 日本煙火協会 専務理事)

日本の花火は、世界に誇る伝統文化として広く国民の皆様に親しまれていますが、そもそもの始まりは江戸時代に祭礼行事の一環として、天下泰平、五穀豊穡や鎮魂・慰霊などを願って行われたことにさかのぼります。本講演では、花火の原料である火薬がどのように誕生して日本に伝わったか、日本の花火がいつ頃から行われたなどの歴史の変遷を紹介するとともに、日本の花火の特徴や、花火鑑賞のポイント、各地に伝わる伝統花火などについても幅広くご紹介します。

**対象：一般市民 (高校生以上向け)**  
**入場無料・事前のお申込みは不要です。**

問い合わせ：ISEM2017 市民講座事務局  
東北大学流体科学研究所 (大谷)  
022-217-5037、isem-shimin@grp.tohoku.ac.jp